

漢方 小児科 婦人科 内科 産科
浮田医院
だより



第 93 号

医療法人 せゝらぎ会

発行所：浮田医院

〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28

TEL 0740-32-3751

FAX 0740-32-3795

ホームページ: <http://www.ukita.gr.jp>e-mail: kanpou@ukita.gr.jp

発行日：2011年12月5日(日)

発行者：浮田 徹也

漢方薬のよさ(93)

老人と漢方 II



はなおかせいしゅう
華岡青洲

今年もあとわずかになりました。三月の大地震(原子力発電所事故)とその後復興事業、台風の被害など大きな変換を余儀なくされた年でした。

災害発生時被災者救助、人的・物質的支援輸送、通信(テレビ)電話・情報収集(開示)確保、負傷者治療(身体と精神)、避難所や仮設住宅の準備、電力対策、土地建物の再構築など多方面をカバーできるシステム構築を確立することが急務であると誰もが感じていることでしょう。地域医療を支えるため、私どもが出来ることは、皆様方が安心して妊娠・分娩、育児ができるように医院を継続していくことだと思っています。そのため、子供達三人のうち二人は、現在産婦人科医として基幹病院で研修中、一人は医科大学在学中です。四十六年以後、一緒に診療する日が来るでしょう。小児科医や麻酔医ともチームを組み緊急時の医療を充実させて、更に高次医療機関との連携も密により多くの患者

さまに満足していただけるよう準備を進めています。

老人と漢方 II のお話です。

せせらぎ九〇号も参考にして下さい。漢方の原典(素問、上古天真論、漢代)の中で、黄帝が岐伯に「昔は、一〇〇歳を超えても元気だったと聞くが、現代では、五〇歳を過ぎるともうよばよばだ、どうしたのだ」と質問す



小樽夕日 北海道

ると、岐伯は「道理をわきまえ、天の氣に調和し、飲食に節度があり、毎日早寝早起き、心身をむやみに疲れさせることをせず、身体と肉体が調和していました」が、今は酒をがぶがぶと飲み、夜遅くまで起き、情欲のおもむくまま女性を求め、精力を消耗しています。高齢の方の治療は、どのような生活を送ってきたか、胃腸は大丈夫か、残りのエネルギーは？などを考え治療する必要があります。例えば、喘息の場合、肺の薬を処方すると食欲が低下したり、反って喘息が悪化する方がおられます。その場合、胃腸機能を高めるような処方がよいことがあります。また、腰痛の場合、鎮痛剤で胃腸障害を生じたり、腎陰虚(漢方医学で言う腎の栄養障害や水分不足、高齢者では皮膚の乾燥、空咳、物忘れ、腰痛、便秘などの症状が出現)の方に陰(栄養や水分)を補う治療をして症状が悪化する場合があります。胃腸機能を調整する薬がよいことがあります。

五十九歳女性、慢性肝炎(HCV抗体陽性、GOT一五〇、GPT八〇、一五年前発病、インターフェロン加療後)、食欲不良、便秘下痢の繰返し、全身倦怠感、皮膚掻痒。顔色は暗黒褐色、腹は柔らかく、胸脇苦満、心下痞硬、臍上悸、臍抵抗圧痛、舌は暗紅紫色、

乾薄黄苔、舌下静脈怒脹、脈は沈、数、弦。そこで柴胡、人參、白朮、茯苓、芍薬、枳実、当帰、川芎、地黄、茵陳蒿、山梔子、牛膝、牡丹皮、桃仁、桔梗、大棗、生姜、甘草、修治附子を処方。一ヶ月後、倦怠感や搔痒感減少。六ヶ月後、食欲改善。一年後、症状改善（GOT-130、GPT-70）。五年後（GOT-100、GPT-50）、継続中。

三十二歳女性、子宮内膜症（右卵巢チョコレート嚢胞5cm、ダグラス窩圧痛硬結、貧血）、月経痛、月経前緊張症（頭痛、イライラ、便秘、乳房痛、肩こり）。食欲良好。顔色良好（両側頬紅潮）、脈浮弦数、舌紫紅色、乾薄黄苔、舌下静脈怒脹。上下腹部の弾力性良好、胸脇苦満、心下痞硬、臍上下悸（十）、臍傍抵抗圧痛。そこで、通導散（桂枝茯苓丸十柴胡加竜骨牡蠣湯を処方。三ヶ月後、月経痛と月経前緊張症緩和。一年後、症状緩和（鎮痛剤一日使用）（チョコレート嚢胞不変）。四年後、チョコレート嚢胞不変、ダグラス窩圧痛硬結ほぼ消失。現在継続中。

二十三歳女性、身長一四十三cm、体重三十五kg、無月経（二年一度程度ごく少量出血）、食欲良好、便通良好、疲労倦怠、時々頭痛。顔色不良、腹部硬い、皮膚の枯燥（一）、胸脇苦満、心下痞硬、両側臍傍抵抗圧痛（十）、脈は沈



院長

遅弱。舌は、淡暗紫紅色、薄乾白苔。そこで、桂枝人参湯十修治附子を処方。一年後、体重三十七kg、月経はホルモン剤で発来（一年三回）。四逆散十人參湯十当歸建中湯十修治附子倦怠感を処方。二年後、月経発来（二年二度）（排卵）（一）。三年後、一年に三度月経発来（自然排卵一度）。四年後、一年に三回自然排卵。六年後、妊娠出産。現在も継続中。

過敏性大腸、三十二歳男性、下痢（外出時、急用時、下痢後便秘）、心下部もたれ、肩こり、背中凝り、下肢冷え、めまい、動悸などで来院。顔は両頬やや紅潮、腹は軟、心下痞硬、下腹部軟弱、脈は沈細弱。舌は淡紅色、薄白苔。そこで、半夏瀉心湯十苓桂朮甘湯十修治附子処方。三ヶ月後、症状ほぼ消失。六ヶ月後、服薬中止すると、症状再発。一年後（現在）継続中。

風邪、インフルエンザの季節になりました。くれぐれ健康に注意してお過ごしください。

今回は、腰痛 1 です。

子宮内膜症

月経痛、過多月経、性交痛、腰痛、肛門痛、排便痛、排卵痛、便秘（月経時は軟便傾向）で、イライラ（特に月経前）しやすく、不妊症の原因の50%を占めています。漢方薬で子宮（骨盤）の血行が改善し、体質が変わり多くの不定症状がなくなります。癒着が強く、大きいチョコレート嚢胞の方にはホルモン治療も併用することがあります。



無月経

原発性無月経（出生後より生理がない）では、子宮、卵巣、膣の發育不全、視床下部や脳下垂体の機能不全が疑われ、遺伝疾患（染色体異常）を認めることも多く、低身長、多毛、翼状頸などの異常が見られます。続発性無月経（途中で生理がなくなる）は、精神的・身体的ストレス、ダイエット、急激な体重増加などが原因で、乳汁分泌、多毛、嚙声などの男性化徴候を伴うこともあります。長い間、月経がないと、骨密度の低下や高脂血症が起こりやすくなります。血液検査（ホルモン、脂質など）、骨量測定、超音波検査などが必要です。



過敏性大腸

「心」と「小腸」は表裏の関係にあり、「こころ」の苦痛が「腸」に表れます。「下痢タイプ」「便秘タイプ」「下痢便秘交替タイプ」があり、感情（怒り）、漢方薬で緊張（ストレス）、冷え、水毒（むくみ）を調整し、規則正しい生活スタイルを取り戻すように工夫（努力）してください。



剤型

・エキス漢方薬：錠剤**タイフ**の漢方薬と顆粒**タイフ**の漢方薬があります。

・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。20～30分煮て作ります。

当院の顆粒**タイフ**の漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫(冷凍庫)で保管して下さい。

漢方薬が固まりやすい場合、当院の漢方薬専用容器(300円)をご利用下さい。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。

・漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性肺炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・

・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

・軽症・中程度の病気：漢方製剤(顆粒あるいは錠剤)を組み合わせで治療。

・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、膣分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

予約ー漢方外来

土曜日の午後、予約・漢方外来があります(予約制、2回/月)。
午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時
3時～3時20分、3時20分～3時40分。
日程は掲示板やホームページでご確認ください。(電話予約可)

骨量測定(4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏・のどあめです。

・紫雲膏・太乙膏・アガリクス・メシマコブ
・靈芝・AHCC・サメ軟骨・快步楽・のどアメ(板藍根、ハーブ)

漢方入浴剤

・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
・昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、早急に受付に連絡して下さい。

在宅療養の支援とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、計画的に診療と治療を行います。往診と違い、定期的に(月に2～12回)訪問診療を行い、患者さんの健康を管理します。在宅療養の支援についてお気軽にご相談下さい。

スーパーライザー(神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス・・・などの治療に利用しています。

皮内針 針管付き鍼

皮内針の長さは1～2mm、針管付き鍼の長さは30mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、膝関節痛、腰痛、足の痛、筋肉痛、頭痛・・・の治に適しています。

予防接種 ワクチン接種

子宮頸癌予防ワクチン、インフルエンザ(季節型、新型)、BCG三種混合(DPT)、麻しん・風しん(MR)、日本脳炎、水ぼうそう、おたふくかぜ、Hib(インフルエンザ菌b型)、ロタウイルス、肺炎球菌ワクチン(小児用 プレベナー)(高齢者)、その他

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○	○	○	○	○	○	—
正午～午後0時30分	—	—	産後健診(予約可)	—	産後健診(予約可)	—	—
午後2:00～午後3:30	母乳相談 (予約)(有料)	母乳相談 (予約)(有料)	母乳相談 (予約)(有料)	母乳相談 (予約)(有料)	母乳相談 (予約)(有料)	予約-漢方外来 (月2回)	—
午後2:00～午後4:00	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	—	—
午後5:30～午後7:30	○	—	○	—	○	—	—

◇漢方外来 (月～土): 内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。
 ◇予約-漢方外来 : 午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時、3時～3時20分、

◇更年期外来(月～土): 更年期の方、思春期の方 (女性、男性 どなたでもお越し下さい)
 ◇不妊 外来(月～土): 赤ちゃんの欲しい方 (ご夫婦でもお越しになれます)
 ◇妊婦 外来(月～土): 妊婦健診、妊娠中の方
 ◇産後 健診(水、金曜日)(有料): 正午～午後0時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月) 産後健診
 ◇母乳 相談(月～金曜日)(有料): 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 乳房マッサージ 電話予約可

前期と中期-母親教室

1月7日(土) 13:30～15:30

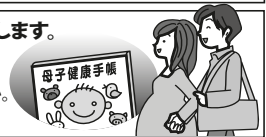
後期 - 母親教室

12月28日(土) 1月14日(土) 1月28日(土) 13:30～15:30

母親教室のご案内

場所: 当院別棟 多目的ルーム 申込方法: 申込ノートでご予約をお願いします。

立会分娩ご希望の方は特にご参加をお薦めします。(申込ノートにお名前の記入をお願いします。母親教室では「母と子のてびき」にそって、お話をすすめていきます。ご夫婦での参加も多くご主人様もお気軽にご参加ください。参加時には「母と子のてびき」「母子手帳」を忘れずにお持ち下さい。



マタニティヨガ・ママヨガのご案内

当院では以前よりマタニティヨガを実施し多くの方から支持を得て参りましたが、産後のママさんからのご要望により、ママヨガ(産後ママ)を始めることになりました。慣れない子育て環境で少しでも「ママのリラクゼーション」を目的としています。お一人でもお子様とでも自由に参加して頂き、ママヨガでのママ友と情報を共有してリラックスした楽しい一時をお過ごしください。

日程: 12月24日(土) 1月11日(水) 1月21日(土) 1月25日(水) 14:00～15:30

マタニティヨガ土曜日開催のお知らせ・・・

これまでマタニティヨガは各週水曜日のみの開催でしたが土曜日を希望される方がとても多く、月に一度の予定でマタニティヨガを行っております。お勤めの方もふるってご参加ください。(各週水曜日も好評開催中)

日程: 12月24日(土) 1月11日(水) 1月21日(土) 16:00～17:30

はなおかせいしゅう 華岡青洲 (1760～1835)

和漢蘭折衷医学を实践し民間薬も広く用いた。経口麻酔薬「麻沸湯(通仙散)」を世界で初めて用いた乳癌摘出手術はあまりにも有名。京都で吉益南涯に古方を、大和見立にオランダ外科を学び、紀州藩医でありながら、僻村で民衆のための医療に尽くした。家塾春林軒には全国から門人が集まり、数多くの名医を輩出した。著書は「乳巖治験録」「丸散便覧」と少ないが、『瘍科神書』『乳岩弁』など門人の録した多くの口授写本が残っている。考案した処方には十味敗毒湯、中黄膏、紫雲膏などがある。



分娩予約

妊娠20週までに受付で予約して下さい。ご予約には、**分娩予約カード**が必要です。予約された方には、**母と子のてびき**、**入院誓約書**、**直接支払い制度合意書**をお渡します。

4D外来(助産師)

助産師が4Dを実施します(およそ30分)。お腹の赤ちゃんの様子が映し出されます。ご希望の方は予約してください。木曜日(掲示をご覧ください)

浮田医院ホームページ (<http://www.ukitagr.jp>)

トップページ(お知らせの欄、診療日程カレンダー)
 産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)
 漢方治療のページ(外来、漢方治療の範囲)
 老人医療のページ(在宅療養の支援)
 健康のページ(健診、ブライダルチェック、予防接種)
 当院の施設案内、当院への交通(車、J R)

産後相談 母乳相談 (助産師)

産後相談と母乳相談(有料)(乳房マッサージ)をしています。午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分。日程は掲示板やホームページでお確かめください。(電話予約可)

正常分娩の入院日数

正常分娩の場合入院日を含めて入院期間は6日間です。初産婦の方、経産婦の方も同じ入院日数です。分娩希望の方はすべて受け付けています。

里帰り出産を予定されている方へ

当院は里帰り出産を受付けています。妊娠23～25週(母体と赤ちゃんの状態をチェックします)に1度診察においでください。当院での妊婦健診は妊娠34週から受けてください。

赤ちゃん健診

産後健診と1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。日時: 毎週水、金曜日 正午～午後0時30分(有料)

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

産科医療補償制度

分娩により重度の脳性麻痺となった児及びその家族の経済的負担を補償し、原因分析と再発防止策を講ずるための制度。当院で通院方に、登録証を発行しています(妊娠16～22週)。詳細は受付でお聞きください。